

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	健康福祉プラザ管理運営事業			シート番号	E 指定管理者事業
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害施策推進 課 評価責任者(課長名)
					11-107
					長尾

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	有
	2	事業開始年度	平成 24 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(略称・障害者総合支援法)			
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画 第5期堺市障害福祉計画・第1期堺市障害児福祉計画			
5	事業実施の経緯	第2次障害者長期計画(平成8年策定)に明記した「(仮称)障害者福祉センター」整備検討をきっかけとして、障害者ひとりひとりが生き活きと輝いている暮らしを実現するために、平成16年に施策の再構築と健康福祉プラザの整備方針を打ち出し、平成24年3月に竣工。 本事業は、平成22年度に指定管理者公募・決定(指定)を行い、以後、平成23年度末まで指定管理者が開所準備業務を行い、平成24年4月1日に開所。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他(指定管理者制度)		
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	身体障害者(児)、知的障害者(児)、精神障害者及び難病患者等(以下「障害者」という。)その他市民一般		
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	障害のある方が住み慣れた地域で、安心して生き活きと生活を送ることができるよう、また、障害のある方もない方もさまざまな活動や交流を通じて相互理解を深めることができるよう、社会参加の促進、健康の維持・増進、在宅生活支援等を効果的かつ効率的に実施する。		
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	健康福祉プラザ管理運営事業は、以下の2点の業務により構成されている。 ・健康福祉プラザ指定管理業務 ・重症心身障害者(児)支援センター指定管理業務 健康福祉プラザ指定管理業務は、施設全体の維持管理業務、及びプラザ内「市民交流センター」、「視覚・聴覚障害者センター」、「生活リハビリテーションセンター」、「スポーツセンター」の管理運営業務を担っており、障害者への文化・芸術・スポーツ活動等を通じた社会参加支援、視覚・聴覚障害者への情報・コミュニケーション支援や「手話言語コミュニケーション条例」の普及啓発、高次脳機能障害者へのリハビリテーション等を実施することにより、障害者の地域生活を支援するものである。 重症心身障害者(児)支援センター指定管理業務は、プラザ内「重症心身障害者(児)支援センター」の管理運営業務を担っており、在宅で生活する重症心身障害者(児)に短期入所、通所、外来診療・リハビリテーション等を提供することにより、重症心身障害者(児)及びその家族の地域生活を支援するものである。 いずれも業務は指定管理制度によって実施し、本市が定める業務仕様書に従って指定管理者によって提案される事業計画書に基づき、業務を実施する。 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他()		
10	直接実施以外の主な支出先	堺市社会福祉事業団・堺障害者団体連合会・フィットネス21事業団 共同事業体、社会福祉法人 三篠会			

Ⅲ. 投入量

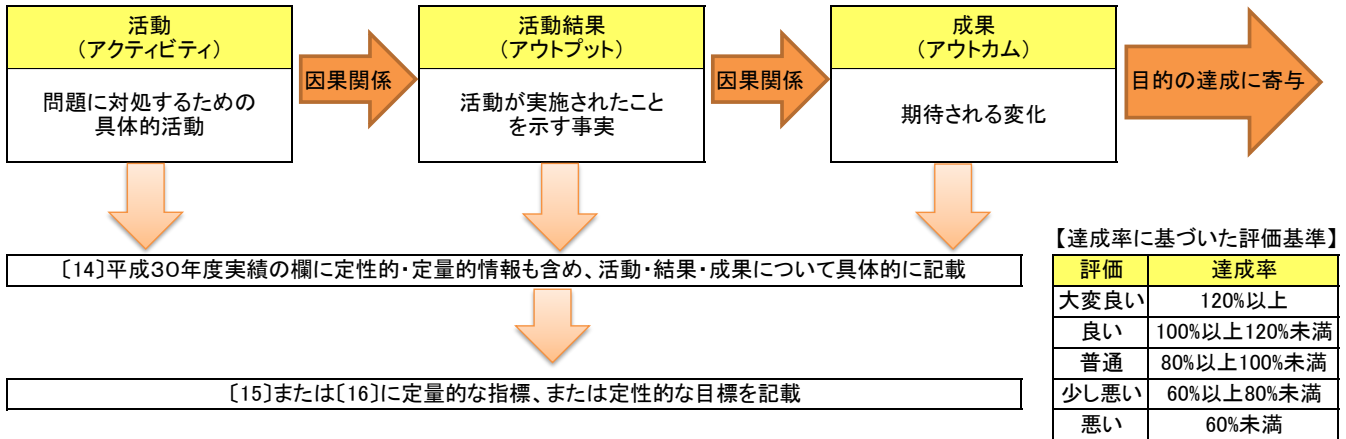
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算		
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	481,185	458,033	464,568	474,717		
	主な事業費内訳	指定管理料	千円	464,292	451,302	462,127	467,799	
		徴収事務委託	千円	4,954	24	108	108	
			千円					
			千円					
		財源内訳	国・府支出金	千円	31,850	29,846	32,600	27,392
			受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	12,998	24	58	108
	市債		千円	0	0	0	0	
		千円	12,094	493	508	508		
		千円	424,243	427,671	431,402	446,709		
	12 人件費 (b)	千円	13,180	10,830	9,840	9,720		
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	494,365	468,863	474,408	484,437			

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	健康福祉プラザ管理運営事業	シート番号	11-107
-------	---------------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績							
活動実績と成果	14	【健康福祉プラザ指定管理者】 平成30年度は第2期指定期間がスタートして2年目となった。開所当初からの過去6年間で培われたノウハウを用いて、安定的な施設運営を行うことができた。 施設利用者数(共用使用・専用使用)は111,138人で、目標の113,000人を僅かに上回ることができず、さらに昨年度を下回った。これまで市の広報紙、プラザニュース、HPページなどによる幅広く市民に対する広報活動を行うと共に、関係諸団体との交流や連携を通じて情報発信に取り組んではいるが、地震や台風の影響もあり減となった。春のプラザまつり(800名参加)や障害者週間フェスティバル(1700名参加)、水泳やポッチャなどのスポーツ教室(延べ3,567名参加)、文化芸術に関しては陶芸などの文化芸術教室(延べ438名参加)のほか、sakai Art cation(182名の応募・1,800名参加)などを行い、社会参加を促進した。 また、「手話言語コミュニケーション条例」の普及啓発として、市長記者会見動画への手話・字幕の挿入、市内4区(計16回)において市民向け手話講座を開催し延べ226名の市民が受講した。 プラザ全体の利用者満足度の目標設定については、平成29年度からは、目標値を85%以上としている。平成30年度の利用者アンケート調査の結果は、満足度78.2%で、目標値や前年度(82.5%)も下回る結果となった。利用者満足度調査、文化・芸術・スポーツ教室等の参加者アンケート、利用者からの苦情・要望等から利用者ニーズや課題等を把握し、日常業務の改善を行うとともに、平成31年度事業計画に反映した。					
		【重症心身障害者(児)支援センター指定管理者】 重症心身障害者(児)支援センター管理運営業務では、入所者定員50名は、ほぼ常に満床状態であり、大きな事故もなく、円滑な管理運営が行われた。					
	15	【健康福祉プラザ指定管理者】 施設利用者数の合計(延)	人	平成28年度 100,000 実績値 110,612 達成率 111% 評価 良い	平成29年度 100,000 113,674 114% 良い	平成30年度 113,000 111,138 98% 普通	令和元年度 113,000
		算出方法・設定根拠など	前年度以上				
	16	【健康福祉プラザ指定管理者】 利用者満足度	%	平成28年度 80 実績値 81 達成率 101% 評価 良い	平成29年度 85 83 98% 普通	平成30年度 85 78 92% 普通	令和元年度 85
		算出方法・設定根拠など	毎年利用者アンケートを実施				

業績の分析

		17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>概ね目標どおりの成果を達成できた。 ただ、健康福祉プラザの利用者数が前年を下回ったことについては、台風が多かったことや6月に発生した地震による影響があったと考えられる。</p>
--	--	----	--

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。